

う蝕学分野

【著書】

- 1) 野杵由一郎 他：エンドドンティックス第5版（興地隆史 他編），47-61頁，188-195頁，永末書店，京都，2018。
- 2) 野杵由一郎 他：歯内療法のレベルアップ&ヒント（北村和夫 編著），20-21頁，178-179頁，デンタルダイヤモンド社，東京，2017。
- 3) 竹中彰治，野杵由一郎 他：バイオフィーム。歯内療法のレベルアップ&ヒント，178-179頁，2017。
- 4) 竹中彰治，野杵由一郎 他：保存修復学専門用語集 第2版，28,30頁，2017。
- 5) 大墨竜也，野杵由一郎：根管治療時に考慮すべき上顎前歯の解剖。歯内療法のレベルアップ&ヒント，（北村和夫 編著），20-21頁，デンタルダイヤモンド社，東京，2017。

【論文】

- 1) Niwano K, Okiji T, Noiri Y: Novel analysis of endodontic file manipulation using a newly developed apparatus for recording force and torque values with real-time Lissajous curve display. *J Dent & Oral Disord* 3(5): 1-5, 2017.
- 2) Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Ohkura M, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Okiji T, Noiri Y. Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars. *Sci Rep* 7(1): 6870, 2017.
- 3) Edanami N, Yoshiba N, Ohkura N, Takeuchi R, Tohma A, Noiri Y, Yoshiba K. Characterization of dental pulp myofibroblasts in rat molars after pulpotomy. *J Endod.* 43(7): 1116-1121, 2017.
- 4) Sakaue Y, Takenaka S, Ohsumi T, Domon H, Terao Y, Noiri Y: The effect of chlorhexidine on dental calculus formation: an in vitro study. *BMC Oral Health* 18(1): 52, 2018.
- 5) Yamamoto S, Han L, Noiri Y, Okiji T: Evaluation of the Ca ion release, pH and surface apatite formation of a prototype tricalcium silicate cement. *Int Endod J.* 50 Suppl 2: e73-e82, 2017.
- 6) Hinata G, Yoshiba K, Han L, Edanami N, Yoshiba N, Okiji T. Bioactivity and biomineralization ability of calcium silicate-based pulp-capping materials after subcutaneous implantation. *Int Endod J.* 50 Suppl 2: e40-e51, 2017.
- 7) Mansur JF, Takahara S, Yamamoto M, Shimatani M,

Minnatul Karim M, Noiri Y, Ebisu S, Azakami H: Purification and characterization of hemolysin from periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens* strain 1073. *Biosci Biotechnol Biochem* 81(6): 1246-1253, 2017.

- 8) Yoneda N, Noiri Y, Matsui S, Kuremoto K, Maezono H, Ishimoto T, Nakano T, Ebisu S Hayashi M: Development of a root canal treatment model in the rat. *Sci Rep* 7(1): 3315, 2017.
- 9) Sato K, Takahashi N, Kato T, Matsuda Y, Yokoji M, Yamada M, Nakajima T, Kondo N, Endo N, Yamamoto R, Noiri Y, Ohno H, Yamazaki K. Aggravation of collagen-induced arthritis by orally administered *Porphyromonas gingivalis* through modulation of the gut microbiota and gut immune system. *Sci Rep* (1): 6955, 2017.
- 10) Nagai K, Domon H, Oda M, Shirai T, Ohsumi T, Terao Y, Arai Y: Antimicrobial activity of ethylene-vinyl acetate containing bioactive filler against oral bacteria. *Dent Mater J.* 36(6): 784-790, 2017.
- 11) Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T. Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2/PGI2-receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. *Odontology.* 106(1): 2-10, 2018.
- 12) Yoshiba N, Edanami N, Tohma A, Takeuchi R, Ohkura N, Hosoya A, Noiri Y, Nakamura H, Yoshiba K. Detection of bone marrow-derived fibrocytes in human dental pulp repair. *Int Endod J.* 2018 in press.
- 13) 長谷川泰輔，竹中彰治，小田真隆，鈴木裕希，坂上雄樹，大墨竜也，野杵由一郎：結核菌表層糖脂質誘導体の口腔バイオフィーム形成に与える影響。 *Bacterial Adherence & Biofilm* (In press).

【商業誌】

- 1) 竹中彰治，野杵由一郎：洗口液のトレンド&アップデート，*DHstyle* 12(145)，デンタルダイヤモンド社，2018。
- 2) 山本信一：著しい骨吸収を伴う下顎第二大臼歯の歯内一歯周疾患への対応，16-19項，*日本歯科評論*，2017年5月号，*ヒューロンパブリッシャーズ*，東京，2017。

【研究費獲得】

- 1) 野杵由一郎：小動物のマイクロエンドモデルの確立と新規根管治療法や根管治療薬の開発に関する研究。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 15H05021, 2017.
- 2) 野杵由一郎(研究分担者)：根面う蝕の発症に影響を及ぼす口腔バイオフィルム細菌叢の解明と新規予防法への応用。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (研究代表者：朝日陽子) 17K11703, 2017.
- 3) 吉羽邦彦(研究代表者)：象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) 16H05516, 2017.
- 4) 吉羽邦彦(研究分担者)：転写因子 Gli1 陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (研究代表：細矢明宏) 16K11664, 2017.
- 5) 吉羽永子(研究代表者)： α -SMA 陽性に転化した細胞の動態から歯髄組織修復・再生メカニズムの解明に挑む。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11546, 2017.
- 6) 大倉直人：歯髄創傷治癒におけるプロスタグランジン E2 の役割：輸送担体発現と受容体の機能解析。日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 16K20450, 2017.
- 7) 大墨竜也：抗菌成分のストレス応答による複合バイオフィルム形成亢進機構の解明。日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究 B, 16K20451, 2017.
- 8) 枝並直樹：歯髄 myofibroblast 様細胞の動態解明と新規歯髄保存療法への展開。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 17H06694, 2017.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 野杵由一郎：保存治療認定医/専門医に問う！ Evidence based な保存治療とは？。日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会，盛岡，2017 年 10 月 26 日，プログラムおよび講演抄録集 147 回：7 頁，2017
- 2) 野杵由一郎：口腔感染症と全身疾患～そのメカニズムと対応策に迫る～。第 71 回日本口腔科学会学術集会 71 回，松山，2017 年 4 月 27 日，プログラム・抄録集：117 頁，2017.

【学会発表】

- 1) H. Maezono, Y. Noiri, Y. Shen, S. Ebisu, M. Hayashi, M. Haapasalo: Effect of concentration/ application time of sodium hypochlorite by ex vivo polymicrobial biofilm. 65th JADR, Tokyo, Japan, 2017/11/18
- 2) Hasegawa T, Takenaka S, Oda M, Suzuki Y, Sakaue Y, Ohsumi T, Noiri Y: Sulfated vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes ex vivo oral biofilm to detach by hydrophilic surface property. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University – Schools of Dentistry Taiwanese Universities, Taipei, Taiwan, November 18–19, 2017.
- 3) Takeuchi R, Ohkura N, Edanami N, Tohma A, Yoshida N, Yoshida K, Noiri Y: Immunolocalization and gene expression analysis of glucose transporter-1 and runt-related transcription factor 2 in rat model during wound healing of dental pulp. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University – Schools of Dentistry Taiwanese Universities, Taipei, Taiwan, November 18–19, 2017.
- 4) Tohma A, Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Yoshida N, Yoshida K, Noiri Y: Immunohistochemical and gene-expression analysis of glucose transporter-4 following direct pulp capping with mineral trioxide aggregate in rat molars. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University - Schools of Dentistry Taiwanese Universities, Taipei, Taiwan, November 18–19, 2017.
- 5) 吉羽永子, 大倉直人, 細矢明宏, 中村浩彰, 野杵由一郎, 吉羽邦彦: ヒト歯髄組織創傷治癒過程における骨髄由来間葉系前駆細胞 fibrocyte の動態検索。第 59 回歯科基礎医学会学術大会，塩尻，2017 年 9 月 18 日，Journal of Oral Biosciences Supplement 2017 巻：427 頁，2017.
- 6) 枝並直樹, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 大倉直人, 竹内亮祐, 遠間愛子, 野杵由一郎：歯髄創傷治癒過程におけるマクロファージの浸潤と myofibroblast 様細胞の分化。日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会(第 147 回)，盛岡，2017 年 10 月 26–27 日，プログラムおよび講演抄録集 147 回：182 頁，2017.
- 7) 枝並直樹, 吉羽永子, 大倉直人, 野杵由一郎, 吉羽邦彦：ラット臼歯断髄後における myofibroblast の動態解析。第 50 回新潟歯学会総会，2017 年 4 月 15 日，新潟，新潟歯学会雑誌 47(1)：52 頁，2017.
- 8) 末山有希子, 金子友厚, 興地隆史：リポ多糖刺激

を行ったラット歯髄の幹細胞に対する免疫二重染色法を用いた検索. 第 73 回日本顕微鏡学会学術講演会, 札幌, 2017 年 5 月 30-6 月 1 日, プログラム: 82 頁, 2017.

- 9) 末山有希子, 金子友厚, 顧 彬, Su Yee Myo Zaw, Phyo Pyai Sone, 興地隆史: ラット歯髄組織の再生に用いるハイドロゲルの検討: アポトーシス抑制効果の解析. 第 38 回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2017 年 7 月 22-23 日, プログラム: 121 頁, 2017.
- 10) 山本信一, 韓臨麟, 野杵由一郎, 興地隆史: In vitro における試作ケイ酸カルシウムセメントの生体機能性評価. 平成 29 年度新潟大学歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017 年 11 月 11 日, 新潟歯学会誌 47(2): 62-63 頁, 2017.
- 11) 長谷川泰輔, 竹中彰治, 小田真隆, 鈴木裕希, 坂上雄樹, 大墨竜也, 野杵由一郎: Ex vivo モデルを用いた結核菌表層糖脂質誘導体 (ビザンチン) のバイオフィルム形成への影響. 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会(第 146 回), 青森, 2017 年 6 月 8 日-9 日, プログラムおよび講演抄録集 146 回: 35 頁, 2017.
- 12) 長谷川泰輔, 竹中彰治, 小田真隆, 鈴木裕希, 坂上雄樹, 大墨竜也, 野杵由一郎: 結核菌表層糖脂質誘導体の口腔バイオフィルム形成に与える影響. 日本バイオフィルム学会学術集会(第 31 回), つくば, 2017 年 7 月 7-8 日, プログラム・抄録集: 24 項, 2017.
- 13) 遠間愛子, 大倉直人, 枝並直樹, 竹内亮祐, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 歯髄創傷治癒モデルラットを用いた Glucose Transporter-4 の局在および遺伝子発現の解析. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会(第 147 回), 盛岡, 2017 年 10 月 26-27 日, プログラムおよび講演抄録集 147 回: 46 頁, 2017.
- 14) 竹内亮祐, 大倉直人, 枝並直樹, 遠間愛子, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 歯髄創傷治癒モデルラットを用いた Glucose Transporter-1 および runt-related transcription factor 2 の局在と遺伝子発現解析. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会(第 147 回), 盛岡, 2017 年 10 月 26-27 日, プログラムおよび講演抄録集 147 回: 86 頁, 2017.
- 15) 鈴木裕希, 大墨竜也, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杵由一郎: Sub-MIC のグルコン酸クロルヘキシジンが/in vitro/複合バイオフィルム形成に与える影響. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会(第 147 回), 盛岡, 2017 年 10 月 26-27 日, プログラムおよび講演抄録集 147 回: 24 頁, 2017.

- 16) 永田量子, 大墨竜也, 鈴木裕希, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杵由一郎: In vitro バイオフィルムモデルを用いた Helicobacter pylori の形態学的検索. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会(第 147 回), 盛岡, 2017 年 10 月 26-27 日, プログラムおよび講演抄録集 147 回: 100 頁, 2017.
- 17) 秋葉奈美, 天雲太一, 富士岳志, 首藤崇裕, 小野和宏, 吉羽邦彦, 二川浩樹, 津賀一弘, 田地 豪, 加藤功一, 佐々木啓一, 魚島勝美, 前田健康: 標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発-第 4 報-. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 2017 年 7 月 29 日, 松本.
- 18) 大倉麻里子, 大倉直人, 野杵由一郎, 丹原 惇, 藤田 瑛, 齋藤 功: 矯正的歯の移動における prostaglandin I2 合成酵素の発現解析と 3 次元の応力集中分布解析. 第 76 回日本矯正歯科学会大会, 札幌, 2017 年 10 月 18 日-20 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 183 頁, 2017.

【研究会発表】

- 1) 竹中彰治: 歯科衛生士の予防知識を高める口腔ケア用品の選択. 厚生連歯科衛生士会春季研修会, 長岡, 2017 年 6 月 10 日.

【受賞】

- 1) 山本信一: S-PRG フィラー抽出液によるヒト象牙質切削面の細管封鎖と元素の移行. 優秀論文賞, 日本歯内療法学会, 2017.
- 2) 枝並直樹: ラット臼歯断髄後における Myofibroblast の動態解析. 平成 29 年度新潟歯学会賞, 2018 年 4 月 21 日.

【その他】

- 1) 竹中彰治: 歯科衛生士の予防知識を高める口腔ケア用品の選択. 九州デンタルショー, 福岡, 2017 年 5 月 27 日-28 日, 2017.
- 2) 竹中彰治: 歯科医療従事者の予防知識を高める口腔ケア用品の選択. シラネデンタルフェア, 名古屋, 2017 年 6 月 18 日, 2017.
- 3) 大倉直人: 歯の神経治癒力の仕組みを解明. 新潟日報, 2017 年 9 月 8 日 2017.
- 4) 枝並直樹: ラット臼歯断髄後の歯髄 Myofibroblast の動態解析. 新潟歯学会誌 47(2): 47, 2017.
- 5) 野杵由一郎: ヒトのデンタルバイオフィルムの包括的研究. 新潟大学共用設備基盤センター年報 1: 26-31, 2017.
- 6) 野杵由一郎: 歯の保存治療の発展を目指して. The

Quintessence 37:644, 2018.

- 7) 野杙由一郎：むし歯治療の夜明け．陽光 19： 4-5, 2017.